

ひまわりようちえん夏休みの心得

いよいよ夏休みが始まります。新入園児さんたちの4月と今の様子を比べてみますと、随分とお兄さんお姉さんになったように感じます。それは年中・年長さんのお世話を受けて与えられる喜びを学んだからでしょう。また、年中・年長さんはお世話する事で喜びを味わい成長してきました。縦割り保育ならではの光景ではないでしょうか。お世話をされる側、される側の満足した表情を見ると幼児教育に携わって本当に良かったと感じます。

さて、夏休みですが子どもたちは園での生活から解放されて存分に家族に甘える事になります。園生活でしっかりと身に付いた事やまだそうでない習慣があるとは思いますが、幼稚園で学んだ事がお家で少しずつ消化されて行くこととなります。その中で大切な事は「神様を忘れない事」です。朝晩の祈り、食前食後の祈りなど日常のお祈りを毎日ご家族で続けて下さい。家族で神に心を向け、祈ることは家族の絆を深めます。

そして充実した夏休みを過ごし2学期になると、子どもたちは1学期に出来た事が出来なくなったりします。でも、子どもはすぐに勘を取り戻して更に成長するのでご安心下さい。事故や怪我もなく、思いっきり楽しい夏休みを味わい、素晴らしい笑顔の子どもたちと再会できることを祈っています。 園長 福崎



～星に願いを！～

緑の笹の葉の間から「ブリキキュアになれますように」「1ばんせがたかくなれますように」「かわいいどれすがきれますように」「おくちがいたいのがはやくなおりますように」子どもたちの書いた短冊が風に揺れています。なかには「ママのびょうきがよくなりますように」「おばあちゃんとおじいちゃんがながくいきられますように」と誰かの為の願いを書いている子どももいました。1人の先生が、「子どもたちが、みんなとなかよく過ごし、やさしい気持ちを体験してきたからこそ、このような素敵な短冊が書けるのだなと思いました。輪になって手を繋ぎ、目を閉じてお祈りする様子を見て、七夕という昔から伝わる行事を子どもたちにこれからも繋いでいきたいと感じました」と日誌に書いてありました。奈良時代から行われている七夕は技術や芸事の上演を願う宮中行事でしたが、今も私たちの生活に定着している行事です。願い事はそれぞれ様々ですが、私たちはひとりでは生きていけません。支え合い助け合って生きています。私自身まだまだ不完全な人間で、いつも周りに支えられて生きています。しかし、それはとても大きな恵みです。子どもたちは、私たち大人に一番大切な事を教えてくれます。自分の置かれた環境に感謝し、自分がどう生きていくか学ぶ機会を与えられていると思います。1学期大きな事故もなく過ごすことが出来ました。それは、いつも幼稚園を支えてくださる保護者の皆様のお蔭だと感謝しています。夏休みご家族で楽しく過ごし、2学期元気な姿で会える事ができます様に、夜空に輝く星々を見て祈りました。 主任 福留



～ひまわりバザー～

ひまわり幼稚園は先生方の優しい笑顔と穏やかな雰囲気と温かさに包まれた園です。今回バザーをするにあたって色々不安や心配もありました。お父様方は休日にも関わらず、前日の会場設営、当日の様々な係、片付け等汗を流して作業して下さいました。本当にありがとうございました。お母様方は、手作り会をはじめラッピング会などのお手伝い会や提供品へのご協力、当日のお手伝いまで快くお力を貸して下さいました。皆さんの力で作り上げた心のこもったひまわり幼稚園の温かさが伝わるような手作りバザーとなりました。

今後は、バザーアンケート結果を受けて来年に向けて準備したいと思います。皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

役員代表 後藤



～いい集団・いい家族・いい接し方～ 後編

行動と存在を分ける

親にとって、子どもの存在は常に良いものです。子どもの存在そのものは大好きなのです。でも、イライラしたりストレスを感じるのは子どもの行動や言葉が時々嫌だと思うからです。「嫌だ」と思っても、自分を悪い親と思う必要はありません。「○○ちゃんは好きだけど、お部屋走るの嫌だな。お部屋は歩こうね」などを言葉で伝えましょう。

言葉が人を変える

大人はつい、自分勝手な言葉を言いがちです。子どもに「きれいに片付けてね」と言葉をかけると、子どもはきれいに丁寧に片付けようとします。すると数分後、「まだ片付けてるの？早く片付けなさい」と言われてしまう。子どもにとっては指示通りにしても怒られる。指示通りにしなくても怒られる。パニック状態です。一貫性のある指示や「長い針が5までに片付けてね」等、条件付きで指示を出すようにしましょう。

みんなが幸せであるために

外の子どもさんや育児書と比較するのをやめましょう。親の役割をお休ませて、自己犠牲と感じる時間を少なくしましょう。家族や仲間とストレスや問題を分かち合しましょう。 まりあ組担任 今村

～七夕～

先日幼稚園にて七夕さまの飾り付けをしました。七夕の日に向けて、各クラス七夕飾りを製作してきました。もにか組も同様に朝のお仕事の時間を使って子ども達と一緒に短冊を書いたり、飾りを作ったりしていたところ、1人の子が「ささのは さらさら～のきばにゆれる～♪」と歌い始め、いつの間にか三人四人と一緒に歌いながら七夕飾りを作っていて、とても楽しい時間となりました。

七夕が過ぎて、次の日に子ども達に夜星空を見たか問いかけると、「昨日ベランダからみんなで見えたよ！」と話してくれる子もいました。

子ども達が生きた短冊の願い事を少し紹介したいと思います。

- ☆おつきになって、きゅうきゅうしゃのひとになりたい。
- ☆おみせのれじになりたい。
- ☆パパとママとうみにいきたい。
- ☆おとうさんのおてつだいができるようになりたい。もにか組担任 森山



～研修に行って参りました～

こんにちは！フリーの田中と森水です。毎月一週間、広島へモンテッソーリ教育を学びに研修に行かせていただいています。広島のコースでは、幼稚園の先生になって1、2年目の若い方だけでなく、子育てをされている方や男性の方など様々な方との出会いがあり、モンテッソーリ教育だけではなく、保育について、そしてそれぞれの経験について語り合い、毎回刺激を受けながら過ごしています。また、コースの先生方のお話は勉強だけではなく、ひとりの人間として大切にしたい心のお話(心の洋服を脱いで、着飾らない本当の自分を大切に、でも裸の王様にはならないように など)をたくさん伺うことができ、日頃の自分自身を見返す良い機会となっています。これから一年間、研修を通してモンテッソーリ教育や保育への理解を深めていけたらと思います。下記にそれぞれが印象に残った教具の紹介をしたいと思います。

★ Vol.4 あけうつし



取っ手付きのピッチャーから取っ手付きのピッチャーへ、色水や米、豆をあけうつすお仕事です。「ただ移す」だけ、「簡単では？」とはじめは思っていました。練習すると大人でも口々に「難しい」と言います。水や米をこぼさないように意識すると、いつもよりずっと指先・手首の筋肉を動かしていると感じる教具です。 田中

★ Vol.5 色板ⅠⅡⅢの箱



色板Ⅰは、赤・黄・青が一対ずつあり、同じ色を探すお仕事となっております。「同じ色は、どれかな？」という様に色を探し並べていく子どもたち。色板Ⅰには続きがあり、色板Ⅱ、Ⅲの箱あります。色も増え、また濃淡で並べていく様な展開になっており様々な色との出会いが生まれ、濃淡で並べ終えた色板を見ると、「美しい」と感じられるような教具となっております。 森水



学校法人カトリック学園 ひまわり幼稚園

〒891-0113 鹿児島市東谷山3丁目31-13 TEL:099-268-2340 FAX:268-2333